

岳鷹

発行者
熊本市立津高等学校
熊本市同窓会
岳鷹会

ごあいさつ

岳鷹会長(高校第七回卒)

後藤 敦夫



岳鷹会会員の皆様、恙なくご健勝にてご活躍のことと拝察申し上げます。皆様には、岳鷹会の運営に、日頃からご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

熊本地震から七年目を迎えますが、完全復興には、まだ、時間がかかりそうですが、交通関係の復興は、七月に全線開通予定(二日二便、肥後大津駅まで乗り入れ)の南阿蘇鉄道の全面復旧開通です。

復興が進むにつれ、大災害の記憶が薄れていくように思われます。ところで、令和二年二月に、中国の湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルスによる感染拡大が、世界に猛威をふるい、三年三ヶ月を過ぎました。

一日も早い収束を願うばかりです。岳鷹会は、本年創設七十五年目を迎えます。同窓生の皆様と共に、創設時の

先輩方の思いと理念を継承して、後輩諸氏に引き継いでいくべく、責任の重さを痛感しながら、今日を迎えております。

青春時代の三年間を同じ学舎で過ごした、先輩・後輩として、楽しく語り合える場の「岳鷹会」にして欲しいのです。

岳鷹会は、熊本県立大津高等学校(旧制中学校を含む)を卒業した熊本市内地区(近隣市町村を含む)・在任者・在勤者・在勤経験者の同窓の会「本校同窓会鷹揚会」の「熊本市地区支部」であり、会員の交流と親睦と同窓の絆を深め、会員各位の益々の発展と母校並びに会の更なる隆盛に繋がるを目的に今日まで続けております。

会報の中の「令和五年度総会」の「開催のご案内」のとおり、「新型コロナウイルス」の感染拡大の状況から、三年間、総会を休止させて頂きました。御協力有難うございました。

本年度についても、苦慮いたしました。が、現状の感染状況を考慮して、開催する事に致しました。会員の皆様を、お誘い頂き、久方振りに、お会いいたしましょう。楽しい同窓の「和」並びに「輪」を上げ、深い「絆」のもと、岳鷹会の隆盛を願うものであります。昨年は、母校、創立百周年を迎え、記念式典、記念行事、鷹揚同窓会による、記念大祝賀会が、盛んに執り行われ、歴史の重みを深く実感しているところです。

表題の「岳鷹」は岳鷹会員で旧中第二十一回(昭和二十三年)卒の岡村研城(英雄)氏の書です。

また、昨年は新春早々、サッカー部が、全国高等学校サッカー選手権大会で、準優勝という偉業を成し遂げました。又、本年の新春には、初めての国立競技場で、準決勝で健闘しましたが、戦果は残念でしたが、母校の創立百周年に大きな花を添えてくれました。

次なるは、「全国制覇」です。最後に、会員の皆様の御健勝とご活躍、岳鷹会の更なる充実を願い、母校の更なる飛躍、発展を念じ、在校生の益々の活躍を期待し、ご挨拶いたします。

「岳鷹」の発刊に寄せて

熊本県立大津高等学校
鷹揚同窓会会長

緒方 一夫
(高校第二十五回卒)



令和五年度を迎え、岳鷹会会員の皆様にはご清祥にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

新緑が目にはばゆい季節を迎えましたが、今年は十年ぶりの寒波から始まりました。ロシアによるウクライナ侵攻の影響もあつて、一月の電気代の請求にびっくりされたご家庭も多かったと思います。実は、その寒波の影響が桜に現れました。今年のソメイヨシノの開花が最も早かったのは意外にも東京でした。気象情報によれば、

桜の花芽は冬に入る前にいったん休眠し、成長を止めます。そして冬の厳しい寒さによつて再び目を覚まし(「休眠打破」と呼ぶそうです)、そこから春の暖かさによつて成長していきます。つまり、冬にある程度寒くなるのが桜の開花には必要で、一月、首都圏に降った大雪が、東京の桜の開花を早めたようです。

さて、大正十二年の旧制中学校創設から着実に発展を続けてきた母校は、創立一〇一年目を迎えました。百年に一度といわれる世界的な半導体生産工場の進出によつて、大きく変貌が予想されるこの地域において、これまで以上に存在感を発揮してほしいと願っています。

最後になりましたが、岳鷹会会員の皆様のご多幸とご健勝を祈念するとともに、母校の益々の発展、在校生の文武両道にわたる活躍を期待します。

ごあいさつ

大津高等学校校長

高野 寛美



岳鷹会の皆様、こんにちは。今年度、熊本県立大津高等学校の校長に就任しました高野寛美です。どうぞよろしく願います。平成二十四・二五年に大津高校主幹教諭・教頭として二年間お世話になり、その後、特別支援学校で勤務し、九年ぶりに大津高校

へ戻ってまいりました。定期異動の発表があつた後、早速、岳鷹会の方からお電話をいただき、懐かしさとともにとても嬉しい気持ちになりました。九年前も大津高校への愛と大津高校で勤務している職員へのやさしさを感じておりましたが、再び、その思いを感じたところでした。

さて、ここ数年、生徒数が減少しておりましたが、前大嶋校長をはじめ、同窓会、在校生、保護者、教職員等の皆様のおかげで、今年度の新入生は三〇〇名八クラスになりました。四月十日には、コロナの緩和もあり、保護者の参加も多く三年ぶりに盛大な入学式を行うことができました。創立一〇一年目に入りますが、次なるに一〇〇年向けて、学業、部活動、ボランティア活動などできることを精一杯行い、「文武一体」「凡事徹底」「恕の心」の教育目標をしっかりと具現化できるよう頑張つて参ります。

今までは、コロナによる制限で学校行事等も縮小、中止になっておりましたが、今年度は学校行事も復活し大きなイベントもできるような準備を進めております。コロナ前にそのまま戻すのではなく、生徒主体となるアイデアを入れ、更に良いものを作り上げられるようにしたいと思います。そして、安全・安心な学校、地域に愛される学校、発展する学校として、皆様から信頼と協力を得ることができるよう頑張つていきます。どうぞよろしく願います。

輝け 大高生!!



大津高校熊本市地区同窓会「岳鷹」の皆様方には、常日頃から本校の教育活動に各方面から多大なるご支援、ご協力をいただき、生徒、職員共々心からの感謝を申し上げます。本校の近況報告をさせていただきます。創立百周年という記念すべき節目の年に大津高校で勤務させていただいた奇跡に感謝、その偶然的巡り合わせに感謝し、ありがとうございます。私事でありますが、令和四年度末の定期異動で大津高校から転出となりましたことをこの紙面にてご報告させていただきますとともに、教員としてこれほど幸せだった大津高校での三年間をいつまでも誇りにさせていただきます。私がお引退してからのこの三年間、世の中は常に「新型コロナウイルス」に翻弄され続けました。本校においても、第七十五回卒業生（令和四年度末卒業生）は、入学式こそ実施できたものの、その後、臨時休業、分散登校、リモート授業、学校行事や部活動の中止や制限、三密の回避、マスク着用等本来の生活からかけ離れた、ストレスの多い生活を送らざるを得ない状況に追い込まれました。しかしながら、



100周年記念体育祭 (左OZU 右100)

そんな中でも生徒・保護者・職員が様々な知恵を出し合って、これまでとは違う方法での学校行事を実施しました。体育大会、文化祭、チャレンジ大会、修学旅行（一年生と二年生が実施。二年生は前年から一年間延期しての実施、卒業式等従来とは異なるスタイルで、実施することができました。国が示す見解や施策等による、やや収束したかのような空気感を感じますが、ウィルスと共存しながらも、人と人との心のdistance（距離）をもっと密にして、交流をより深めることができたと願うばかりです。さて、令和五年度は三〇〇名の新生を迎え、全校生徒七〇六名でスタートする予定です。新入生に関しては、入学者選抜においての定員割れの状態を解消することはできませんでしたが、前年度比五三名増の入学生を迎えて、久しぶりに八クラスを編成することができました。校内に、生徒募集戦略部（大高未来創造推進班）を創設して、近隣中学校へのPR年間約十五回程度訪問、体育コース（サッカー部）と大津小学校五年生とのサッカーク交流、「大高いいね！」通信の発行（HPに掲載しています）、保育園での読み聞かせボランティア（毎週一回実施、秋には「個別相談会（中学校三年生生徒及び保護者対象）」等を実施しました。定員充足に向けてチャレンジヤー精神を持った前向きな職員が、結果を恐れずに積極的に大津高校をアピールした結果かと考えています。令和五年度は、高野寛美校長、西野俊一郎副校長、高木慎二教頭をはじめ新たなメンバーが加わり、さらに活気溢れる大津高校となりそうです。新しい次の百年のスタートに向けて、生徒・職員一丸となつて、新たな一歩を踏み出して全力で教育活動に取り組んでいく覚悟です。ここで、令和四年度における本校の取組み、後輩達の活躍を、岳鷹会の皆様はこの紙面をお借りしてご報告いたします。

まず、令和五年三月の卒業生二〇九名の進路状況です。国公立大学への合格者は、地元熊本大学、熊本県立大学をはじめ筑波大学、東京学芸大学、京都教育大学、広島大学、高知大学、宮崎大学、鹿児島大学、北九州市立大学、長岡造形大学、福岡市立大学、高知工科大学等に二二名が合格しました。また、私立大学は、地元の熊本学園大学、熊本保健科学大学、崇城大学、九州看護福祉大学、九州ルーテル学院大学、尚絅大学をはじめ県外では西南学院大学、福岡大学等に延べ一七三名、短期大学に延べ九名、高等看護学校に延べ九名、専門学校に延べ四一名等公務員（自衛隊）に延べ五名が合格し、就職では本田技研をはじめと生徒それぞれが内定いたしました。生徒それぞれが進路希望に対応できるように、作文・小論文指導から面接指導、受験対策に対して全職員で関わり、その指導に対して生徒が一生懸命に努力を積み重ねた結果だと考えており、まず、あとに続く一年生、二年生も必ずその様子を目標にして、先輩に続くであろうと確信しているところであります。次に、部活動の活躍をお伝えします。男子サッカー部においては、昨年度に続いての第一一回全国高校サッカー選手権大会に出場しました。吹奏楽部の応援を背にPK戦では最後まで諦めないメンタル面でのタフさを発揮しました。結果は三位と目標の全国制覇は持ち越したと、二年連続で国立競技場の舞台で校歌を聞くことができたことは大津高校関係者として誇りにです。次年度は、国立競技場に忘れてきたものを取り返すつもりです。「公立の雄」として、頂点を勝ち取るために引き続きの応援をお願いいたします。少林寺拳法部は、年度末に第二十回全国高等学校少林寺拳法選抜大会に出場しました。全国の高い壁に阻まれ、全員予選落ちであったもののこの経験を今後の飛躍につなげるものとされます。



放送部は、NHK杯全国高校放送コンテスト県大会の4部門に挑み、テレビドキュメント部門で、「壁に扉を」が2位入賞、ラジオドキュメント部門で「ああ青春の生徒歌！」が3位入賞となりいずれも全国大会に出場することとなりました。第四回九州高校放送コンテスト県大会では、テレビ番組部門で「Don't stop! 野焼き」が準優勝2位、ラジオ番組部門で「こぎれし子をそばに」が3位に入賞しました。演劇部は、六月に熊本県立劇場で開催された熊本県高等学校総合文化祭において、総合開会式での標語「プニングアビリティ」を行い、部員一〇人が他校生とコラボして県内一〇校六〇人以上でチームを作り、「ぎざめみんなの青春oneカット」というコンセプトのもと、全身でパフォーマンスを行い、大会に花を添えました。秋に行われた第七一回熊本県高等学校演劇大会において、最優秀賞



美術部・美術コース作品



ものと思われず。美術部・美術コースにおいては、毎年着実に美術公募展等において数々の入賞、入賞の実績をあげ続けています。第八回銀光展、第二回熊本県高等学校写真大会、第二十九回田山淳朗賞 高校生ファッション画コンテスト（九州・沖縄二〇二二）では、三年連続でのグランプリ受賞は逃しましたが六年連続の上位入賞を継続することができました。

その他、野球部による小学生との交流会は恒例行事となりました。次年度は、幼稚園生との野球交流も計画中です。吹奏楽部は、中学校へ出向いたの演奏披露、十月には光の森で行われた「熊本地震復興コンサート」年度末の定期演奏会等一般市民の方をも感動させる活動を行ってまいります。このような取り組みは、大津高校が地域に根差して、地域に愛される学校として存在していくために大切な取り組みであり、これからも様々なバリエーションでこのような活動を計画していきます。結びとなりますが、これまで諸先輩方が積み重ねてこられた歴史と伝統の重みを受け止め、継承し、校歌に刻まれた「大津高校に光あれ、誉あれ、栄あれ」を忘れずに、大津高校の明るい未来を創造するために生徒・保護者、そして職員が一体となつて教育活動に取り組むつもりです。本校の教育の柱である「盡己・誠心・凡事徹底」の「文・武・一」を日々実践し、大高生のますますの活躍を先輩方にご報告できればと考えております。これからも温かい叱咤激励をどうぞよろしくお願い申し上げます。

文責 前教頭 浦本 清隆



吹奏楽部定期演奏会



演劇部の活動

を受賞しました。年末には鹿児島市での第六十四回九州高等学校演劇研究大会にも県代表として二年振りに出場しました。

大津高校創立百周年を迎えて

(旧中第二十一回卒)

岡村 研城

大高創立百周年記念、誠に目出度うございます。私は旧制大津中学校最後の卒業生の満九十二才の若人です。生まれは南阿蘇村の出身です。現在は熊本市内に在住の岳鷹会の一員です。昭和十八年四月に大津中学校に入学。五年間の大中生活を送りました。当時高森線の汽車通三年間は戦時中で四年五年が終戦後の汽車通でした。三年間は勉強よりも奉仕作業や工場の作業等にて終戦までの状況でした。国防色服装、帽子は戦闘帽で少年軍隊にて三年間漸く四年生五年生の二年間が学生らしい姿に変わり白線入りの帽子、黒の学生となり写真一枚にとりた時期でした。卒業後の前途の方向もぼち／＼決める頃でした。部活も少しづつ各部も出来て行くようになり私も剣道、そして美術部にも手を出し始めました。しかし戦後の充分なる事も出来ず五年の課程で卒業し上級学校希望にて上京したものゝやはり田舎者には中々なじめず一年で帰郷。自宅の家庭従事し三年間営業の中個々の商業関係も仲々に運営がきびしくやはり会

社関係の商業に勤め、その中で永年趣味として関係のある書道協会等に向を定め各面の関係ある技術そして組織などの努力を重ねて講師の免許資格等も修得して文化協会又文化センターそして学校にも充分なるご縁を戴き、熊本芸能野火の会の主催を引き受け十年間、各芸能、書道、華道、日舞、民謡とあらゆる人達との集まりにて十年間を開催しました事も今の私の現在の今です。その中で母校大津高校の活躍は本當びつくりする現実を見ながら自分の人生をふり返りより一層の自信とそして誇りを感じている現在でした。

又偉大なる全国大会の準優勝のすばらしい結果により一層の母校の出身者としてより一層の元気を戴きこの機会をスタートとして大高魂、文武両道を目標に前進する事を新たにしましたものです。益々の前進をモットーに願います。誠に思いのまゝの拙なき筆を置きます。



乾杯の音頭を取る筆者
(100周年祝賀会)

創立一〇〇周年に寄せて

(高校第二十回卒)

赤塚 敏

先日、古典芸能を鑑賞する機会がありました。八代城築城四〇〇年記念「古今狂言会」という狂言師の指導のもと、お馴染みのタレントが本気で古典狂言に取り組む古典の伝統と現代の笑いが融合した芸能です。狂言の始まりは、遡ること六〇〇年前だそう。この間、艱難辛苦がありながらも時代の変化に対応して、今日までその芸が引き継いでいます。素晴らしいことです。

コロナ禍の中、一〇〇周年記念祝賀会を中止した同窓会もあつたようですが、わが同窓会は同窓生・現旧職員四〇〇名の出席を得て、創立一〇〇周年記念祝賀会を開催しました。旧制中学卒の同窓生や北海道・東北をはじめ遠方の出席もあり、母校愛の強さを感じました。祝賀会は演出・工夫もあり、盛會裏に終わりました。年齢を超えた交流を楽しみ、夜の街へ繰り出した人もいたようです。五年後、十年後の再会を約束して・・・。なお、午前中には大津高校体育館において、創立一〇〇周年記念式典が多くのご来賓出席のもと、厳粛に挙行されました。「東急本店が閉店五十六年の歴史に幕」の新聞記事を目にし

ました。地震や豪雨災害に遭遇し廃業・閉店した老舗店も多いのではないのでしょうか。コロナウィルス感染症の長期化も影響していることでしょうか。一方、先日立ち寄った和菓子店は「私は二代目で創業六十年になる」。この界限には、明治創業の店も営々と続いているようです。最期に、人生一〇〇年時代を生きる縁(よすが)に大津高校が地域の文化の拠点として一五〇年、二〇〇年と存立することを祈念いたします。



大高100周年
きよ 清原 晏君 (大津高校70回卒) の琴の演奏

プロフィール

令和四年 東京芸術大学音楽科卒
令和四年 第二十七回くまもと全国邦楽コンクール最優秀賞・文部科学大臣賞・熊本県知事賞
令和四年 宮城道雄記念コンクール一般の部第1位
令和五年 くまもと県民文化賞

一〇〇周年祝賀会 (ホテル日航熊本)



祝・創立一〇〇周年
半世紀前を回想

(高校第二十四回卒)

村上 秋代

卒業して半世紀が過ぎました、時の流れは早いものです。

まだ新校舎建設中のため仮校舎の教室。

初登校日、クラスメイトのほとんどが別中学卒の人達、少し緊張して教室に入ると三、四人の男子がわちゃわちゃとじやれあっているのが目に入り、隣席の女子とちよつと苦笑いするも

気持ちほぐれ気さくに話せるようになりました。二年生、三年生とクラスが違っても仲良くなった友達、卒業して五十年経った今でも変わることなく仲

良しの友人がいてくれるのは元気の源で励みになっています。

部活は吹奏楽部に、顧問の先生は吹奏楽が大好きで生徒数人と部を立上げ、部員増加と存続に邁進されこれは吹奏学部の上と継承の礎となりました。放課後の練習、夏の合宿、コンクールに向けての練習はきつく厳しいものでしたが、部員一丸となつての練習の成果は上位受賞をもたらし、成長著しい後世の方々の頑張りは最高賞を何度も受賞し定期演奏会は恒例となりその活躍は目を見張るばかりです。

毎日遅くまでの練習は大変でしたが、文化祭・体育大会でノリノリの色んな曲を演奏するのは楽しく、夏は大木の下での練習

習、休憩時間になると応援指導に來られている卒業生の方と男子で楽しそうにキャッチボール、女子はひそひそ話をしながらキャッキヤと楽しくほつこり気分になっていました。卒業しても何かと集まる機会があり飲食会や旅行、近況報告と昔話(特に夏合宿でのエピソード)でいつも大笑いです。ここ二年ほどコロナ禍で集まれなくてLINEでの繋がりは今時に乗っかりですが、やはり再会が待ち遠しくコロナの終息を願ってやみません。

クラス担任の先生、部活顧問の先生、各教科の先生、愛称が付いていた先生やお話ししたことのない先生、お名前やお顔を思い出す中で今でも脳裏にはつきりと焼き付き後悔と反省の念に駆られる事がありました。とても温厚な先生の授業中居眠りばかり、とうとう業を煮やされた先生に「教室を出なさい」と言われそのまま家に帰りました。翌日友人に促され先生に謝りに、直立でうつむいている私を見ながらいつもの温厚なお顔で一言「もう居眠りしないですね、一瞬で安堵し気持ちに律して授業を受けようと肝に銘じました。

楽しい思い出と一緒に紡いでくれた友、温かいご指導ご鞭撻に敬愛してやまない先生方、高校三年間の教えと学びは社会人となる一歩を力強く後押ししてくれました。

卒業して半世紀経った今、同窓生による「岳鷹会」の創立と

継承は、諸先輩方の並々ならぬご苦労と熱意とご尽力により母校との大きな架け橋となっており、同窓生の結束と絆で岳鷹会のより一層の隆盛を願っております。

大津高校の益々の飛躍発展を祈念し、大校伝統の「文武両道」更なる進化を楽しみに心からエールを！

大津高校創立一〇〇周年誠に
おめでとうございます！

100周年記念式典(於:大津高校)



大嶋校長 式辞



蒲島熊本県知事の祝辞

令和五年度「岳鷹会」総会の御案内

新緑の候 会員の皆様には、益々御健勝にて御活躍のこととお喜び申し上げます。

昨年は、大津中・高校創立一〇〇年となり、記念すべき年でございました。これから次世代を担う若い力の結集により、次の一〇〇年に向けて、大津高校の更なる飛躍を期待しているところでございます。

本年は岳鷹会創設七十五年を迎えます。本年度の岳鷹会の総会を左記の日程で開催いたします。新型コロナウイルスの関係で三年ぶりの開催でございますが、世代を超えた賑やかな楽しい語らいの場にしたいと考えております。是非、沢山の皆様の御参加をお待ちいたしております。

令和 五年 六月 吉日

熊本県立大津高等学校鷹揚同窓会
熊本市地区支部同窓会「岳鷹会」

会長 後藤 敦 夫(高校七回卒)

記

一、日時 令和 五年 七月七日(金曜日)

〇受付 十八時 〇総会 十八時三十分

二、場所 鶴屋百貨店 東館 七階

熊本市手取本町六番一号 電話〇九六・三五六・二二一一

三、会費

男性 九千円(年会費二千円を含む)
女性 八千円(年会費二千円を含む)

※ 総会に出席できない方は、会の運営経費に、同封の振込用紙で、年会費二千円の御協力をお願いいたします。

※ 返信は、六月三十日(金)必着でお願いいたします。

編集後記

一九二三年、大正十二年に熊本県立大津中学校として開校したのが母校、以来、昭和、平成、令和と時代の変遷があり、昨年十月に創立百年の記念式典、祝賀会が盛大に開催されました。北海道、仙台、東京と全国で活躍される大津高校OBが集まりました。邦楽の頂点を極め、熊本県文化賞を受賞された清原晏君の祝賀会での琴の演奏には魅了されました。大津高校のこれからの百年、期待しましょう。

コロナの影響により三年振りの総会の開催、皆様方との再会を楽しみにしております。

会報の原稿執筆をころよくお引き受けいただいた方々、ありがとうございます。厚く御礼申し上げます。
(高校二十回卒 岩水 澄人記)